

第38代北部方面總監吉田陸将着任

統率方針「先進作戦集団として使命を完遂する。」

要望事項

- 一、国を守る気概
- 一、即動・強靱
- 一、チーム北海道

生年月日：昭和37年生まれ
 出身地：東京都
 最終学歴：東京大学 工学部

略歴

- 昭和62年3月 第26普通科連隊
- 平成2年8月 防衛大学校
- 4年3月 普通科教導連隊
- 5年8月 幹部学校 指揮幕僚課程(39期)
- 7年8月 外務省 北米局 日米安全保障条約課
- 9年8月 第34普通科連隊中隊長
- 10年8月 陸上幕僚監部 人事部
- 12年3月 陸上幕僚監部 装備部
- 15年3月 陸上幕僚監部 防衛部
- 17年8月 防衛研究所 一般課程
- 18年8月 研究本部
- 19年4月 陸上幕僚監部 防衛部 防衛課 業務計画班長
- 21年3月 第39普通科連隊長兼て弘前駐屯地司令
- 22年3月 陸上幕僚監部 防衛部 防衛課長
- 24年3月 統合幕僚監部 報道官
- 25年8月 西部方面總監部 幕僚副長
- 27年8月 内閣官房 国家安全保障局 内閣審議官
- 29年8月 第8師団長



陸将 吉田 幸秀



第756号

令和元年9月30日

統率方針
 先進作戦集団として
 使命を完遂する。

- 要望事項
- 一、国を守る気概
 - 一、即動・強靱
 - 一、チーム北海道

発行：北部方面總監部広報室

着任の辞（全文）

我が国を取り巻く戦略環境は戦後最も厳しいと言っても過言ではない。こうした情勢認識を受けて、我が国の防衛力を抜本的に強化することを目的として、昨年末、政府は新たな防衛計画の大綱を策定した。その中において、領域横断作戦能力、あるいは持続性、強靱性を強化するという内容の多次元統合防衛力を構築することが謳われている。陸上自衛隊の五つある方面隊の中で、実はこの北部方面隊が、それを最も具現化する地位にある。なぜならば四つの作戦基本部隊を有し、そして地对空ミサイル部隊、地对艦ミサイル部隊、長距離の火力部隊、さらには電子戦部隊等、陸上自衛隊の方面隊の中で最も強力な直轄部隊を有している。

我々は、これまで築いてきた伝統をしっかり受け継ぐとともに、先進作戦集団として進化をしなければならぬ。

そして、もう一つ忘れてはならないこと、それは我々、北部方面隊の使命である。我々北部方面隊の使命には二つある。

一つは創隊以来、全く変わらないこの北海道の防衛警備である。

そしてもう一つは、既にある機甲師団はもとより、すべての作戦基本部隊が機動師団、機動旅団に改編されることから分かるのとおり、事態が生じた場合については、北海道の領域外に迅速に機動展開し任務を完遂することである。我々は何としてもこの二つの使命を果たさなければならない。

令和元年8月23日、第38代北部方面總監吉田陸将に着任し、北部方面總監部の所在する札幌駐屯地において着任行事等が執り行われた。

總監は着任にあたり、「先進作戦集団として任務を完遂する。」を統率方針とし、「国を守る気概」「即動・強靱」「チーム北海道」を北部方面隊全隊員に要望し、全身全霊責務を全うする決意を述べられた。また、記者会見において、多次元統合防衛力を具現化していくこと、北海道の防衛警備・災害対応をする上で、関係機関との連携をより一層深めて行くことや、北海道民の生命、財産をいかに守り抜く強い覚悟を臨むとの意気込みを述べられた。

北部方面隊は吉田總監の下、各部隊心を一つにし、伝統をしっかりと受け継ぎつつ先進作戦集団として進化して行く。



儀じよう

これらを踏まえ、私の統率方針として「先進作戦集団として使命を完遂する。」を掲げる。これを実現するため三点を要望する。

一つ目、「国を守る気概」

三万人全隊員が国を守る気概、使命感に溢れ、そしてこの先進作戦集団の一員であるという誇りを堅持してもらいたい。

二つ目、これは部隊に対する要望事項であるが、「即動・強靱」

いかなる事態が生起しても速やかに部隊を機動展開するとともに、そして長期にわたる、あるいは過酷な環境下における任務を何としても完遂する。即動かつ強靱な部隊を、各部隊長は徹底的に作り上げてもらいたい。

三つ目、「チーム北海道」

我々は陸上自衛隊だけでは任務は完遂できない。海・空自衛隊はもとより、例えば、災害派遣等を考えた場合、自治体を中心に警察、消防、海上保安庁、そして自衛隊とこの四つの実動部隊が力を合わせることも、関係行政機関や公共機関とも連携し、任務完遂を必要がある。そのためには関係機関等が平素から緊密に連携し、ワンチームにならなくてはならない。

以上、統率方針として「先進作戦集団として使命を完遂する。」

要望事項として「国を守る気概」「即動・強靱」「チーム北海道」、これらを掲げ、私は自衛官勤務のすべてをかけて、全身全霊この責務を全うする所存である。どうか各部隊、心を一つにして付いてきてもらいたい。



見送りを受ける田浦陸将

第37代北部方面總監 田浦陸将離任 新たな夢に向かって

8月21日、第37代北部方面總監の田浦陸将は約40年間の自衛官としての任務を完遂した。方面各部隊長や總監部及び駐屯地勤務者等の盛大な見送りの中、田浦陸将は新たな夢へ向かい旅立った。



フェリーへの乗船



駐屯地を出発する入浴支援隊

令和元年 台風15号に伴う入浴支援

北部方面隊は台風15号による千葉県の停電に伴う災害派遣として、第2師団、第7師団、第5旅団、第11旅団、北部方面隊方支援隊から編成された2つの入浴支援隊、人員約180名、車両約80両を派遣した。

各入浴支援隊は千葉県の横芝光町、木更津市、千葉市、山武市、富津市において入浴支援施設を開設し、支援活動を実施した。



防御戦闘 (2師団)



超越交代 (7師団)



01 北演 令和元年度北部方面隊総合戦闘力演習

令和元年8月25日～9月9日

統裁官要望事項

- 「現代戦の様相を踏まえ、作戦機能を総合化せよ。」
- 「戦闘力を徹底的に組織化するとともに、強靱性・持続性を発揮せよ。」
- 「基本・基礎を徹底し、安全管理に万全を期せよ。」

北部方面隊は令和元年8月25日から9月9日の間、令和元年度北部方面隊総合戦闘力演習を実施した。総合戦闘力演習は、方面隊の総合戦闘力を最大限に発揮した作戦遂行能力の向上を図ることを目的に行っている方面隊最大規模の実動演習であり、人員約10,000名、車両約3,000両、航空機約30機が参加した。本演習は、総監部と司令部等との情報共有及び各機能の連携を演練するもので、戦局が防勢から攻勢に変わる局面を焦点とし、第2師団と第7師団の超越交代に方面隊の保有する運用機能(情報、火力、対空、電子戦、施設、航空、通信、兵站、衛生、会計)を連携させ、本格的着上陸侵攻事態対処能力の向上を図った。

また、9月1日から9月9日までの間、総合戦闘力演習の場を活用して北部方面航空隊、北部方面通信群、北部方面会計隊、北部方面衛生隊、北部方面音楽隊の訓練検閲を実施した。

各受閲部隊は日頃の練成の成果を遺憾無く発揮し、困難な状況を克服し、任務を完遂して訓練検閲を終了した。



攻撃戦闘 (5旅団)



遅滞戦闘 (11旅団)



攻撃部隊の通過支援 (3旅団)



統裁官(総監)現地指導



野外システム通信の構成 (通信群)

**方面総監直轄部隊
訓練検閲**

航空隊、通信群、会計隊、
衛生隊、音楽隊が受閲



ヘリによる患者後送 (航空隊)



慰問演奏 (音楽隊)



野外会計業務 (会計隊)



野外病院での救護 (衛生隊)



日米共同による狙撃訓練



市街地戦闘訓練

RISING THUNDER 19

令和元年度米国における米陸軍と実動訓練

日米共同による実戦的・実際の戦闘訓練を実施

第25普通科連隊(連隊長大野木1佐)は、8月22日から9月21日までの間、米国ワシントン州ヤキマトレーニングセンター(YTC)で行われた令和元年度米陸軍との実動訓練「ライジングサンダー19」に参加した。本訓練は、米国の訓練基盤、特に市街地戦闘訓練施設を最大限に活用して、日米共同による実戦的・実際の戦闘訓練を実施し、国内では実施が困難な各種射撃を、その射撃向上を図り、また、日米普通科(歩兵)部隊間の相互運用性及び戦術的向上を目的とし、陸自側から第25普通科連隊第1中隊第33歩兵旅団戦闘団第2歩兵大隊が参加した。

前段訓練では、陸自単独により、国内では実施が困難な市街地での実戦的訓練を実施し、米軍UAVと連携した戦術射撃、中距離多目的誘導弾による移動目標に対する射撃等の戦闘訓練を行い、後段訓練では日米共同による射撃、攻撃における掃討及び警戒部隊の駆逐等を実施した。また、全期間を通じて日米共同による狙撃訓練も併せて実施した。

訓練を通じて共同運用能力を向上させ、戦術的向上を図ることができた。



中距離多目的誘導弾の移動目標射撃

訓練基盤、特に市街地戦闘訓練施設を最大限に活用して、日米共同による実戦的・実際の戦闘訓練を実施し、国内では実施が困難な各種射撃を、その射撃向上を図り、また、日米普通科(歩兵)部隊間の相互運用性及び戦術的向上を目的とし、陸自側から第25普通科連隊第1中隊第33歩兵旅団戦闘団第2歩兵大隊が参加した。

前段訓練では、陸自単独により、国内では実施が困難な市街地での実戦的訓練を実施し、米軍UAVと連携した戦術射撃、中距離多目的誘導弾による移動目標に対する射撃等の戦闘訓練を行い、後段訓練では日米共同による射撃、攻撃における掃討及び警戒部隊の駆逐等を実施した。また、全期間を通じて日米共同による狙撃訓練も併せて実施した。

訓練を通じて共同運用能力を向上させ、戦術的向上を図ることができた。

国連 PKO 支援部隊早期展開プロジェクト RDEC



空港での見送り

PKO重機操作要員不足解消に尽力

北部方面隊は、国連PKO支援部隊早期展開プロジェクトとして、第12期展開プロジェクトに教官団として第2佐以下18名をウガンダ共和国早期展開連P KO施設部隊の迅速な展開を可能にする。

このプロジェクトは、重機や重機操作要員の不足を解消し、アフリカにおける国連P KO施設部隊の整備の訓練を実施する。

派遣された教官団は、令和元年11月15日から平成26年11月15日まで、ウガンダ軍兵士に対し、重機の基本的な操作及び整備の訓練を実施する。

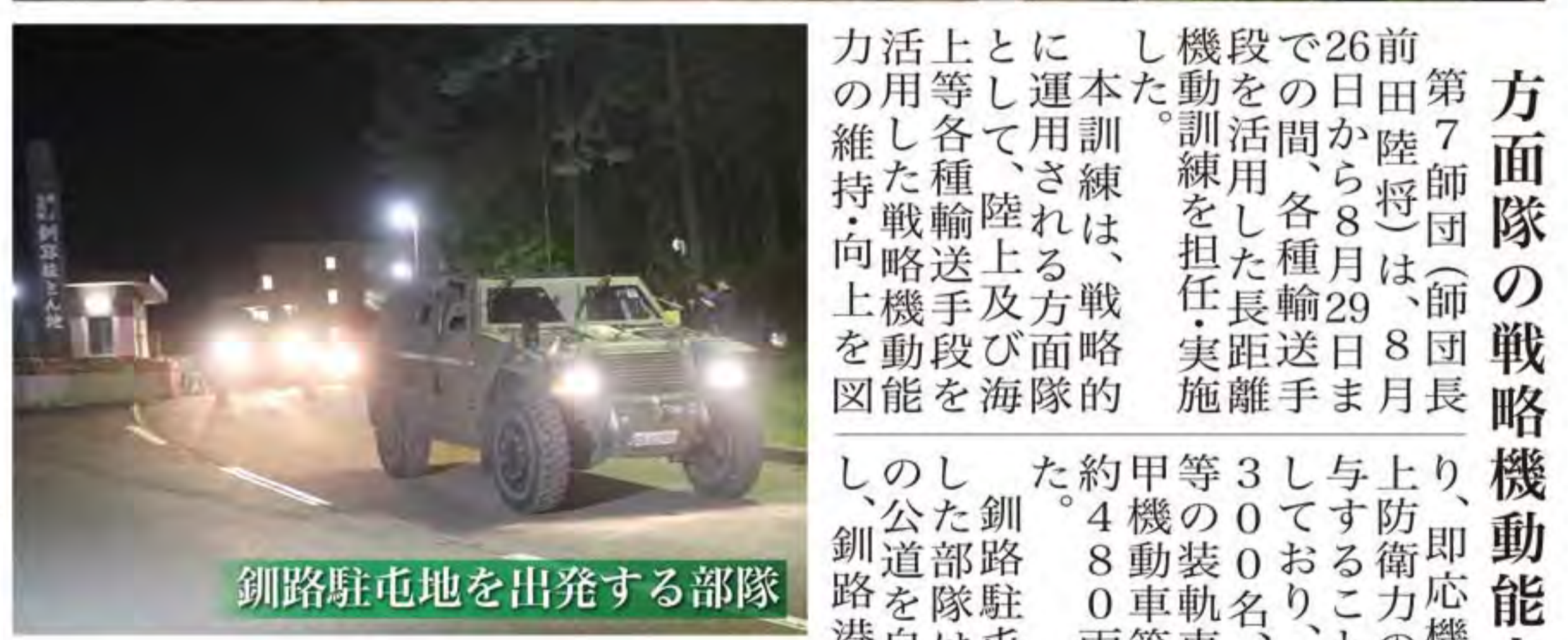


ウガンダ軍工兵に対する教育



令和元年度 長距離機動訓練

釧路市街を前進する90式戦車



釧路駐屯地を出発する部隊

方面隊の戦略機動能力を向上

第7師団(師団長前田陸将)は、8月26日から8月29日までの間、各種輸送手段を活用した長距離機動訓練を実施した。

本訓練は、戦略的運用される方面隊として、陸上及び海上等各種輸送手段を活用した戦略機動能力の維持・向上を図る。

約480両が参加し、釧路駐屯地を出発し、釧路港に停泊した。

約480両が参加し、釧路駐屯地を出発し、釧路港に停泊した。



釧路港での民間船舶への乗船

民間資金等活用事業(民間資金等活用事業)「ワールド」へ乗船し、釧路港を苦小牧港の間を海上機動して、東千歳駐屯地へ到着する。この機動訓練の目的を達成し、訓練を終了した。

日本ハムファイターズ 震災復興イベントに参加



記念品を受け取る第7特科連隊長

北海道胆振東部地震から1年

第7特科連隊(連隊長川口1佐)は、北海道日本ハムファイターズが主催する震災復興イベントに参加した。

このイベントは、昨年の北海道胆振東部地震の震災復興に貢献した団体に対し、栗山監督から各団体の代表者に対し、記念品の贈呈を行う。北部方面隊の災害派遣活動写真展



災害派遣活動写真展

着任将官部隊長等紹介

<p>第39代 第2師団長</p>  <p>陸将 森下 泰臣 昭和40年生まれ 出身地 福岡県 防衛大学校 32期</p>	<p>第10代 第5旅団長</p>  <p>陸将補 小瀬 幹雄 昭和38年生まれ 出身地 兵庫県 東京大学(工学部)</p>	<p>第3代 第3施設団長</p>  <p>陸将補 浅賀 政宏 昭和47年生まれ 出身地 新潟県 防衛大学校 38期</p>	<p>第48代 方面總監部幕僚長</p>  <p>陸将補 柿野 正和 昭和43年生まれ 出身地 福岡県 防衛大学校 34期</p>	<p>第61代 方面總監部幕僚副長</p>  <p>陸将補 池田 孝一 昭和46年生まれ 出身地 静岡県 防衛大学校 38期</p>
--	---	--	--	---



東千歳駐屯地業務隊

旭川駐屯地業務隊



白老弾薬支処

倶知安駐屯地業務隊



表彰式

令和元年度業務隊等に対する 陸上幕僚長表彰式

7月24日、陸上幕僚長表彰式が実施された。業務隊等に対する表彰は、部隊の業務遂行に対する支援助力の向上(運用支援能力の強化)等、駐屯地業務担当部隊の士気高揚及び部隊の業務遂行の向上に貢献したことを表彰した。

令和元年度業務隊等に対する表彰式は、陸上幕僚長表彰式が実施された。業務隊等に対する表彰は、部隊の業務遂行に対する支援助力の向上(運用支援能力の強化)等、駐屯地業務担当部隊の士気高揚及び部隊の業務遂行の向上に貢献したことを表彰した。



敵上陸部隊への対応

第1電子隊が参加した新たな領域での作戦



研修するオピニオンリーダー

方面隊オピニオンリーダー活動

富士総合火力演習研修 8月24日、25日にオピニオンリーダー活動として東富士演習場で実施された。令和元年度富士総合火力演習研修を行った。オピニオンリーダー3名が最大規模の火力演習を研修した。前段・後段の二部構成で実施された。前段演習では新装品の19式装輪15mm自走り榴弾砲の試作品の機動展示を実施したほか、後段演習においては、昨年度に引き続き「島嶼部における統合部隊への対応」において、北方から参加した第1電子隊の行動など、サイバー領域、電磁波領域といった「新たな領域」での作戦の要素を追加して実施された。

2019年度自衛官等募集案内

募集種目	受付期間	試験期日	合格発表
自衛官候補生	年間を通じて行っております。	受付時にお知らせします。	合格発表日は試験日にお知らせします。
医科・歯科幹部	10月1日～10月31日	11月22日	2020年1月31日
陸上自衛隊高等工科学校生徒	推薦	2020年1月5日・6日 ※いずれか1日を指定されます。	2020年1月16日
	一般	11月1日～2020年1月6日	1次：2020年1月18日 2次：2020年1月31日～2月3日 最終：2020年2月14日
貸費学生	11月1日～2020年1月6日	2020年1月25日	2020年4月24日

NORTHERN SPIRIT 19 陸・海・空自衛隊を総合的に紹介



陸上自衛隊戦車試乗

3日、北部方面隊は8月間、東千歳駐屯地、苫小牧西港及び航空自衛隊千歳基地において「ノーザンスピリット19」を実施した。

本事業は、陸海空自衛隊に対する理解を促進し、北部方面隊内をはじめ全国の自衛隊において適質な人的戦闘力の確保に寄与することを目的として実施した。今年度は高校生、大学生等の募集対象者283名が参加した。期間中、学生たちは航空機C-47Jの体験乗機や90式戦車の試乗、護衛艦ゆうたの試乗、護衛艦ゆうたの体験航海など、各種広報イベントや現職の自衛官との交流、意見交換等を通じて、自衛官を職業の有意な選択肢となるよう意識を高めた。参加した学生からは「自衛隊のイメージが変わりました」「自衛官になる意欲が高まりました」等の感想が聞かれ、所要の目的を達成し終了した。



海上自衛隊艦艇体験航海



航空自衛隊航空機体験搭乗

◆他の種目や詳しい内容は最寄の自衛隊地方協力本部へお問い合わせ下さい。



自衛官候補生の採用は18歳から32歳までです 隊員自主募集情報は部隊等担当者まで!

令和元年台風15号の被害に遭われた皆さまに心からのお見舞いを申し上げます。北部方面隊からも入浴支援隊として約180名の隊員が派遣され、千葉県において入浴支援活動を実施しました。被災された方々が一日も早く元の生活を取り戻せるよう願っております。北部方面隊においては、吉田総監の下、新たなスタートを切りました。この「あかしや」も新しいスタッフで作成しております。方面隊の活動を発信し、より良い紙面づくりを努めてまいります。読者の引き続き御愛読いただき、よろしくお願いいたします。

編集後記